

品質カイゼン室の花のココが知りたい！！

ストレリチア編

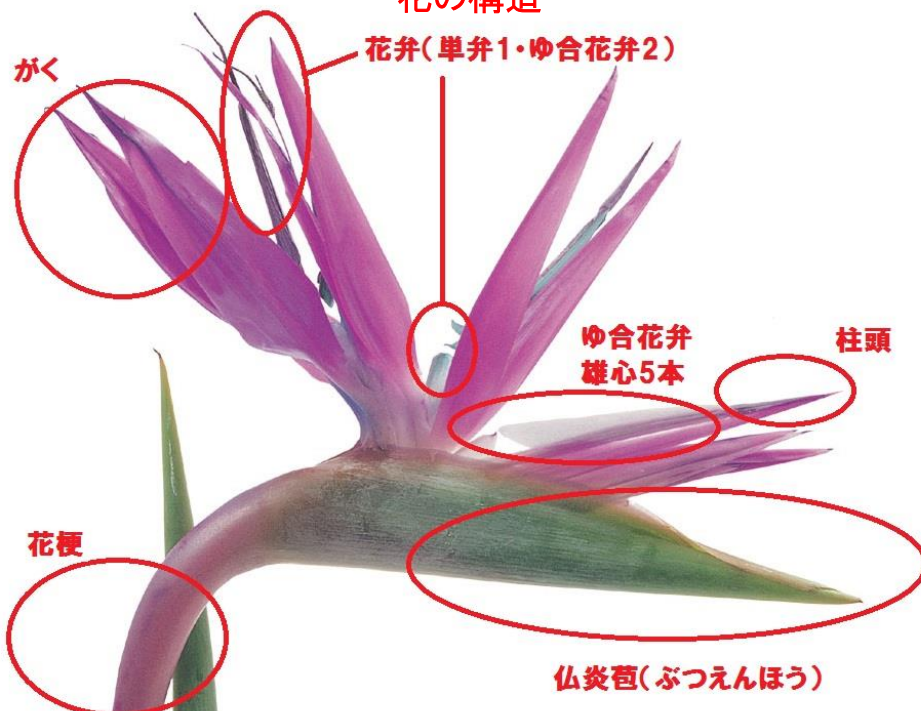
今年は酉年!!ということで「極楽鳥花」とも呼ばれるとてもにぎやかな花ストレリチア
今回はその中でも特にレギネについて注目していきたいと思います！！

ストレリチア 学名: *Strelitzia reginae*

バショウ科 自生地: 南アフリカ

和名では「極楽鳥花」英名では「Bird of paradise」(バードオブパラダイス)と呼ばれる
その名の通り、鳥の頭によく似た花です。

花の構造



原産地の環境から、花・花梗・茎・葉とも水分蒸散作用を抑える構造になっています。
茎・葉は革質化し、根は水分貯蔵機能を持ちます。ストレリチアは特に外観の個体差がありますが、

花が大きく、草丈は高く分けつしないものが切り花に向きます。

※分けつ…根元付近や切株から新芽が伸びて株が増えること

栽培行程

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
露地栽培	1年目						播種・育成				ハウス保温		
	2-3年目	仮植・移植				仮植・移植				仮植・移植			
	4年目	定植・育成				定植・育成				定植・育成			
	5年目	収穫										収穫	
	6年目	収穫											
	ハウス栽培	1年目						播種・育成				ハウス保温	
2-3年目	仮植・移植				仮植・移植				仮植・移植				
4年目	定植・育成				定植・育成				定植・育成				
5年目	収穫										収穫		
6年目	収穫												

1朔から10～50粒の種子を採取できますが、種子の発芽は非常に不安定です。
 なぜ不安定なのか…それは種子の「硬実」のせいなのです！！



※オレンジ色の毛がついているのが種子

「硬実」とは??

その名前のとおり硬い種皮に覆われた種子のこと。アサガオやカボチャも硬実種子の仲間です。硬い種皮は都合の悪い環境(暑さ・寒さ・乾燥など)から耐え忍ぶためにあります。また生育地を広げるために、「動物に食べられ消化されずに種のまま糞として排出される」という方法を取ります。子孫を残すためにもなくてはならないものなのです。より良い環境条件に出会えたとき種子は発芽します！！

現在の切花栽培では…

上記のようにストレチアは種から育てると大変時間がかかってしまいます。しかしストレチアは株分けすることが出来るので、現在の切り花栽培ではほとんど苗から栽培スタートし、株分けによって育成・栽培していくそうです。

※株分け…5～9月に3芽くらいついている状態で切り分けること。小さくしすぎると生育が遅れてしまうので注意。



生育・花芽分化のポイント “日照条件と温度”



育苗管理にあたって開花株は強光線を好みますが、幼植物はやわらかい光線を好みます。葉焼けの原因となる西日を嫌うので寒冷紗等で遮光します。このように日照条件は花芽分化の条件としても生育に大きく影響します。

5℃以下の栽培温度では開花速度も鈍くなり、花弁も退色して切り花品質が極端に悪化します。

夜温でも 8～10℃を維持することが望ましいです。なお地上部の枯死限界温度は 0℃で寒害にあつてしまうと回復に 2-3 年もかかってしまうので注意が必要です。



↑ 日光がストレチアたち全面にあたるようなハウス



↑ 1 株分の様子

ストレチアの品種いろいろ



ゴールドクレスト



オレンジプリンス



レギネ

主な産地

静岡・沖縄・滋賀・神奈川

日持ち・管理方法

有効な品質保持技術はまだ確立されていませんが、とても水揚げが良いので比較的長く楽しめます。栄養剤または抗菌剤も効果があります。固いつぼみは開花しにくいので、萼から手で取り出すと咲きやすくなります。ただし、開花とともに蜜が出てくるので虫の発生に注意！！
またエチレン感受性はありますが、高くないのであまり問題はありません。

開花とともに出てくる蜜は糖を含みとっても甘く、ベタベタします…！！
これらが花弁についたままになると、カビや花シミの原因となります。
なので、蜜が出てきたらティッシュや濡れふきんなどでふき取ってあげましょう♪



観葉植物としても活躍するストレチア

実は切り花だけではなく、観葉植物としても活躍しているストレチア。切り花品種と同様に様々な品種が流通しています。今回はその中の一例をご紹介します。寒さにも強く、乾燥にも強いストレチアは生活の中に気軽に取り入れることが出来ますね。管理方法を弊社園芸担当に聞きました！

ストレチア ニコライ(オーガスタ)

日当たりの良い暖かい場所に置くのが好ましい。水は乾いたらたっぷりあげる。水が少なく乾燥すると葉が内側に丸まったり、ハダニ発生の原因となります。また、受け皿に水が溜まると根腐れの原因にもなるので要注意です。ただし基本的には数多くある観葉植物の中で、寒さにも乾燥にも強い植物なので冬場も室内なら問題なく育てられるそうです。観葉植物初心者さんにもおすすめ！！



年末年始の特別な場面から、観葉植物として日々私たちに癒しを与えてくれる場面まで、ストレチアは幅広く活躍しています。ストレチアが咲く様は生命力が満ち溢れ、見ているこちら側も元気をもらえますね。そんなストレチアに、ぜひ皆さまご注目ください！！



画像・写真提供

伊豆太陽農協 南部営農センター様

太陽の花 沖縄県花き園芸農業協同組合 <http://www.taiyo-hana2.jp/>

参考・引用文献

宇田明 桐生進著 「花屋さんが知っておきたい花の小事典」 / 堀江博道著 「農業技術大系」 第9巻

タキイ種苗 花と野菜のふしぎ解体新書 https://shop.takii.co.jp/flower/bn/pdf/201408_45.pdf

日持ち保障に対応した切り花の品質管理マニュアル 農研機構花き研究所

[https://www.naro.affrc.go.jp/flower/research/files/Manual\(Quality_control_of_cut_flowers\)_Revised_ed.pdf](https://www.naro.affrc.go.jp/flower/research/files/Manual(Quality_control_of_cut_flowers)_Revised_ed.pdf)

大田花き 品質カイゼン室

